令和5年度自治体SDGsモデル事業

宮崎県延岡市

DXとGXの両輪によるもっと豊かに、もっと元気に、もっと明るく、もっと安全・安心に、 働き、学び、暮らせるまちづくり ~ 「一人ひとりが主役」の時代をつくる~

取組内容の概要:DXの進展により働く場所や働き方、学び方、暮らし方、医療や福祉等様々な分野で「与えられるもの」から「自分で決め られるもの」へと変わってきている中、DX・GXを両輪としたまちづくりに取り組み、市民の健康と、一人ひとりの個性や能力 を大切に育むことでさらなる市民力を醸成し、社会課題の解決と経済成長の両立を図る。







経済 (DX)

課題:都会との格差





スマートシティ政策で都会との格差をなくす

- ●「デジタル団地」によりIT企業をさらに誘致
- ●自然豊かな所にワーケーション誘致
- ●スマート農林水産業・スマート製造業の推進
- ●AIや同時双方向遠隔事業策により「誰一人 取り残さない」延岡独自の学習を推進
- ●安心と温もりの市民参加型GISクラウドサー ビス構築事業
- ●脱マイカー社会推進のためのオンデマンド 交通導入事業

政府のスマートシティ関連事業に選定(R3)

- 内 閣 府「未来技術社会実装事業」
- 国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」

デジタル田園都市国家構想推進交付金採択(R4)

デジタル実装タイプ(TYPE1・2)



環境面の相乗効果①

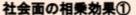
エネルギーの地産地消による所得 流出の抑制、新事業・雇用の創出

経済面の相乗効果②

脱マイカー社会の推進

経済面の相乗効果①

市から発信される情報に関する満足度の向上



「人間力」の高い人材の輩出

●行動変容・行動誘発に寄与する 地域ポイント活用サービス事業

健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGs に貢献する行動、健康づくりに関する行動等に 対してポイントを付与しながら、行政の負担を 軽減しつつ、市民の力で社会をより良くする ためのキャッシュレスプラットフォームを構築。









課題:健康寿命の延伸、子どもたちの 「人間力」の育成

国立循環器病研究センターと連携した健康長寿の推進

- ●のべおか健康マイレージ事業
- ●「延岡方式」による介護予防事業

多様な学びの場の創出による「人間力」の育成

- ●はらはらわくわくふるさと体験隊
- ●社会人講師(よのなか先生)によるキャリア教育
- ●延岡こども未来創造機構による3つのプロジェクト

「学校」「地域」「家庭」と連携し、延岡ならではの 人間力を育む新たな担い手の存在として 「延岡こども未来創造機構」を設立(R4)









課題:自然環境の保全、公共インフラの老朽化、 災害時の電源確保、公共交通網の再構築

生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)

●祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業

住宅地のカーボンニュートラルによる再生と強靭化モデル

- ●PPAによる太陽光最大導入
- ●省エネ改修の徹底実施、地元林産材の活用
- ●CO2削減の見える化・エネマネ
- ●カーシェアリング、EV充電スタンド、シェアサイクルの整備
- ●住民や事業者の加速度的EV利用促進
- ●乗合タクシー・循環バスEV化

ユネスコエコパーク認定(H29) 環境省「脱炭素先行地域」認定(R4)

環境面の相乗効果②

・地域レジリエンス・脱炭素化の同時 実現による都市ブランドカの強化 QOLの向上

社会面の相乗効果②

「人間力」の高い人材の輩出



